



オリンピック・パラリンピック 関連行事・授業 号



オリンピック・パラリンピック教育推進事業について

今年度、長野原高等学校は「群馬県オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の指定を受け、行事や授業、図書館運営にオリンピック・パラリンピック関連活動を取り入れてきました。新型コロナウイルス感染防止のため、年度初めには家庭学習期間があり、通常登校が再開されてからも、本事業は限られた時間・環境での実施となりました。しかし、生徒たちは各学習活動を通じて、意欲的にオリンピック・パラリンピックの意義を学ぶとともに、共生社会への理解を深めることができましたようです。本活動を通じて得た気づきが、生徒たちにとって進路選択や他者理解、人生を豊かにする一つの「キッカケ」となってくれたらと思います。

開校記念式典

11月12日(木)に義肢装具士の沖野敦郎様、2017年世界パラ陸上競技選手権日本代表の池田樹生様を講師にお迎えし、「キッカケ」の演題で、開校記念式典記念講演会を行いました。

沖野様からは、職業との出会いと学ぶことの大切さについて、コールアンドレスポンス形式で講話をいただきました。沖野様の経験談や技師装具士クイズに絡めて「自分の価値観・興味関心は変化していく」「習っていないからわからないは通用しない」「勉強即ち知る事」などのアドバイスをいただき、社会人デビューを控えた3年生に、社会人としてのあり方を考える貴重な時間となったようでした。

池田様からは、障害との向き合い方と好きなことを仕事にすること、そして責任感について講義をいただきました。お話の最後に、「自分の好きなことを仕事にすることは幸せなことだが、苦しい、大変と感じる時間の方が多い。しかし、一瞬かも知れないが楽しさもある。その一瞬の楽しさを本当に楽しむために、苦しさに向き合って成長してもらいたい。」という激励の言葉をいただきました。

公演後は講師のお2人のご厚意で、時間が許す限り生徒からの質問を受けていただきました。また、義足を実際に触らせていただいたり、講師控え室を訪れた生徒の質問にも答えていただいたりもしました。





3学年 スポーツレクリエーション「シットイングバレー&ゴールボール」

開校記念式典を受けて、3年生の選択科目「スポーツレクリエーション」では、パラリンピック種目の授業が行われました。11月13日にはシットイングバレー、27日には男子がゴールボールを体験し、パラスポーツへの理解を深めました。授業後の感想シートには「耳だけを頼りにボールを取らなければいけないし、ボールに触れたとしても、得点に繋がるプレイとならなくて、難しかった。」「仲間とコミュニケーションを取れなかった。」「難しいが、体の使い方を工夫すればできるかもしれない。」という感想が多く、他者理解について考える機会ともなった様でした。



「ベートーヴェンが残したメッセージとは？ ～オリンピックとの共通点～」

12月11日に、1学年の音楽Ⅰにてベートーヴェンの交響曲第9番の授業が行われました。交響曲第9番は長野オリンピック開会式にて、演奏された曲でもあります。生徒は、ベートーヴェンの創作意図を「なぜ、第九がさまざまな国で年末に演奏されるのか」や「オリンピックの目的意識」とからめて捉えていました。

図書館 オリパラ関連本のポップ作成 &イラストコンテスト



今年度、長高図書室では県立図書館に協力をいただき「オリンピック・パラリンピック関連本コーナー」の設置を行いました。図書委員が夏休み中に1人1冊ポップを作成し、貸し出しを行いました。特設コーナーは、保健の授業を中心に利用されています。また、特設コーナーの設置に関連して、オリンピック・パラリンピックをテーマにイラストコンテストを開催しました。応募されたイラストは、貸し出しの際に受け取る「しおり」に活用されています。本を借りる度、何のイラストが載っているか、楽しんでもらえたらと思います。



群馬県立長野原高等学校 発行
学校通信「ヤマすけ」



長野原高校 HP

令和2年12月23日(水)第5号(通算191号)
<http://www.gsn.ed.jp/gakko/kou/naganohara/>
[住所]群馬県長野原町与喜屋21-1
[電話]0279(82)2388 [FAX]0279(82)2810